

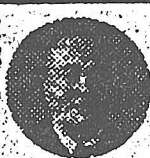
気持はよく判るが

水俣の暴力私はどう見る

交渉はもっと冷静に

二日不知火海区の漁民二千人が新田屋水俣工場内に二度にわたって乱入、電子計算器などの器材や工場施設をたたきこわした事件は最近にない不祥事件として県市民の非難をかってゐる。つぎは暴力事件についての県下各界の意見。

▽寺本熊本県知事の話 漁民のみ ずばは絶対やめてほしいと自願をい。



なんの猶状に 望んで来たばかりだった。その生は天下の同情が 活は予想していたとよりも非常集まっているのにひといい。それはよくわかる。しにこれは困った かし暴力は漁民のためにマイナスことだ。現地の にこそなつても、マスにはならみなくては先日会ったとき行き ない。どうか慎重に行動してほしい。

▽藤田熊大副学部長の話 乱闘騒ぎの責任はどっちもどっちといえるが、第一の責任はやはり政治の貪欲といふ



ぼかはない。こういう問題は「場側と漁民側」の間に立つて、第三者の公平な立場にある県当局がもっと本腰を入れて解決に当るべきだと思ふ。しかし漁民側もせつぱつまった気持はよくわかるが、群衆心理にかられて騒ぎを大きくすることを避け、もっと冷静な態度で交渉を進めてほしい。水俣病の原因については熊大と工場側で真

論があるようだが、熊大側としてはもっと科学のあらゆる面を網羅した統合研究班を組織すべきだと思ふ。

▽黒田県婦連理事長の話 ざりざりまで追いつめられての行動で



じょう。漁民の方々の立場は同情できるし、また局外にある私たちにはくわしい事情がわからないので軽々しく批判はいえませんが。しかし、暴力ゆたにまでなることは決して解決を早めることにはならないと思ふ。感情的に走らず、お互いが代表を出しておだやかに、理性をもつて話し合つて行く以外に方法はないのではないだろうか。これじれてからもつかの間の時日がたつてゐるし、政府あたりも国家的見地から乗り出して二日も早く円満妥結できるよう願ひます。先日

も県当局、市場関係者から市販の魚は絶対に心配はない。安心して食べてよいとお話で、婦人会の方々に伝えよと思つていたところだ。消費者も神経過敏になりすぎることと騒ぎの要因でしよう。

▽工場近くの一商店主の話 民主主義の世の中だから工場も漁民も話し合ひで解決がつかなかったものか。リクツは漁民にあつても暴力行為は許せない。

▽主婦の話 ちやうど子供が学校をひけて帰るときだったの生徒が集まつて見ていたが、あんな情景は子供に見せたくない。漁民はまるで獣のようだった。果を通じて話し合ひで解決がつかなかったものだろうか。